

未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

平成28年(2016年) 7月の出来事
～ 地元報道より～

南三陸町

◇志津川中学校の総合学習の一環として、志中の86人と志津川高校のビジネス科3年の22名が10班に分かれて、連携事業で意見交換をした。古里の将来を考えたときに、人口減少に歯止めを上げ、町民全員での防災・避難訓練の実施・津波の達した地区への石碑を建立し、震災の風化をさせない等、中高生の様々な提案がされた。

◇佐藤仁町長の2015年の資産公開で、町長と広域の副管理者の給与収入が912万9743円だった。

◇志津川地区に建設予定のショッピングモール(複合商業施設)の起工式が6日と決まった。大型駐車場やバスターミナルなどの整備で、中心市街地の賑わいと観光交流拠点となる。さんさん商店街の現在のフードコートは、1.5倍に拡大される。出店は28店を予定している。約500㎡の平屋が6棟並ぶ。

志津川十日町の佐藤榮吾さん(88)が、教育功労で瑞宝双光章(高齢者叙勲)を受けた。発令は3月1日付けながら、県気仙沼合同庁舎で7月1日に、息子の佐藤志郎さん(59)が、勲記と勲章を受けた。戸倉出身で、国語・英語の教員として、戸倉・入谷中で勤務し1986年には3度目の歌津中勤務となった。歌津中で校長に着任し、1988年に定年退職した。(現石巻在住)

◇志津川東団地の6街区(26戸)のうち、1街区の集合住宅2棟82戸と、2街区の戸建14戸で96戸が1日に引き渡され、やっと古里に帰って来られる町民も多い。

◇南三陸町立志津川中学校で、全校生徒237人に「薬物乱用の防止教室」が開かれた。講師に気仙沼地区薬物乱用防止指導員協議会の幡野会長は、「死か病院か逮捕」と薬物の恐ろしさを説

明した。
◇南三陸町の観光振興や交流人口増加の拠点として、期待される。新商店街の起工式が6日おこなわれた。隈研吾さんの設計・デザインによるもので、来年3月の開業を目指す。
◇10日南三陸町戸倉漁師の会で「感謝祭」。

三陸沿岸のホヤの大量処分問題の中で、南三陸町の民宿・ホテルのおかみが新メニューを考案し、ホヤのまちを目指して、消費拡大し廃棄を減らしたいと活動している。

◇第24回参院宮城選挙で、桜井充氏(60)民進党が、約51万票で当選した。次点は自民党の熊谷大氏(41)で、その差は約4万票だった。南三陸町では桜井氏が2083票で、熊谷氏が3231票で投票率は「46.6」だった。

◇夏の観光シーズンながら宿泊予約が震災の風化で減少している。作業員需要は高水準だが、関係者の盛り返しに期待をしている。

◇7月11日午後0時30分頃、志津川廻館地内で、体長130cmのクマと子クマが目撃された。

◇7月14日の臨時議会で防災集団移転の、志津川清水・戸倉・歌津柞沢・歌津中山4カ所の集会所の町の買い取りが総額1億7095万円だった。

◇14日南三陸町議会東日本大震災対策特別委員会(山内委員長)の会議で、参考人のURとJ.Vが原因を説明し、防止策を示した。施工不良に対し議会で陳謝した。

気仙沼市の東陵高校が来年度から「東稜学園」となり、南三陸町まで通学バスを運行する予定としている

◇歌津の定置網に38Kもある、超特大のヒラマサがかかり、気仙沼魚市場に水揚げされた。通常は5～6Kで、6～7倍の大きさだった。Kあたり800円で、150～200人前の刺身になる。

気仙沼地方振興事務所の報告で、大震災での農地の復旧を90%終えた。しかし、農家が減り耕作放棄地が4割にもおよぶ。管内面積は3691haで南三陸町は昨年未で、423haとなった。

◇南三陸町で19日「全国ホヤサミット」が開催

され、消費増加・販路拡大などを考えた。
◇歌津消防出張所を平成の森に新築移転を年度内に完成を目指す。

◇戸倉小学校の4年生が今年も5千匹の成熟した蚕を族を移す作業に入った。立派な繭とマスコットを作っている。

◇志津川魚市場のミズダコ水揚げが最盛期を迎えた。今年は前年比の2.5倍の水揚げとなっている。

◇志津川高校で韓国ソウル市の市立大真女子高校の15人が来町し、ソウル市の伝統芸能の交流会を開催し、未永い親善を誓い合った。30日に広島で開かれる、全国高校総合文化祭で韓国伝統舞踊を披露する。

◇南三陸署は25日、津山町柳津の男性(32)の容疑者を、南三陸町内で風呂場のぞき・住居侵入で逮捕した。

2015年の「災害援護資金」が増加に転じた。震災で住宅が全半壊したり、世帯主が負傷した場合に150～350万円を、貸し付ける制度。震災直後は車の購入に充てるための活用があったが、住宅再建が進み「家財」の需要に充てるために、53.2%増加となった。昨年は68件で1億6515万円となった。(気仙沼市)

◇志津川高校(山内松吾校長)で、地元事業所などによる「模擬面接会」が実施され、企業の経営者が言葉使いなど厳しくチェックした。今後の就職面接に役立ててと多くの地元事業所が参加した。

志津川高校に一昨年秋に南三陸町戸倉に伝わる「行山流水戸辺鹿子躍」の愛好会が結成され、昨年10月の県郷土芸能大会に出場し、最優勝を獲得した。7月30日開催の広島県での「全国高校総合文化祭の部郷土芸能部門」で、全国へ地域の宝を発表する。

◇南三陸町歌津管の浜地内で、28日午後4時50分頃にクマを目撃したと通報があった。

高校野球宮城大会で志津川高校は3回戦で、県内の甲子園常連校の東北高校に5対7で、善戦むなしく涙をのんだ。

南三陸町と気仙沼市の復興の進捗と問題を比較して見れます。

7月の出来事

気仙沼市

本吉町蔵内漁港の防潮堤計画は、L1対応で9.8mの建設を18年までに予定しているが、背後地に民家はなく、JR東日本も「BRTは避難可能なので守らなくてもいい」との意向が示され、計画の見直しも検討されている。

◆気仙沼市は「介護マンパワー緊急確保対策事業」として、23人がU・I・Jターンで助成金を活用して市内に就職した。

気仙沼市は本吉町の新明戸地内の被災農地の約2600㎡を、農地転用の手続きをせずに着工していた。計画されていた米乾燥施設の建設の完成が遅れた。指導すべき立場の行政の手続きミスに、農家はあきれている。

◆新たに農地転用の未申請の着工が分かった。最知の農業用倉庫で、気仙沼市菅原市長が陳謝し、職員の処分と方針を示した。

◆気仙沼市は県内2社の不動産会社と「空き家バンク」の活用による定住促進への官民連携の協定締結をした。

東日本大震災後に80人目となる若手漁船員が、15日から1ヵ月間の航海にでる。石巻出身の高橋さん(33)で幼い頃からの漁師になる夢をかなえた。

◆気仙沼市で初の「店舗併設型災害公営住宅」が内湾地区の八日町に完成し、29日から入居が開始される。

気仙沼市への震災後の寄付金は総額で9億2900万円となり、4割を産業振興などに活用した。基金残高として5億7000万円を積み立てている。

◆気仙沼市の女性会社員(31)が特殊詐欺の被害を受け207万円をだましとられた。

◆気仙沼市の災害公営住宅の空き室(241室)の再募集に対して、147世帯から申し込みがあり、68世帯が仮確定し、希望が重複し抽選での39世帯と合わせて、107世帯が仮確定した。

◆気仙沼署は東日本大震災で殉職した、間馬警部と千田警部の慰霊碑を気仙沼警察署前に建立し、安全・安心な町づくりを誓った。

◆気仙沼みなとまつり(8月6・7日)の「はまらいいんや」に3300人参加。

気仙沼市の課税対象となる市民の所得総額が、震災前の676億円(2010年)から、16年度には681億円となった。人口減少の中で上昇の理由には復興需要と賃金の上昇が上げられる。

◆気仙沼「海の市」の、気仙沼シャークミュージアムの「震災復興シアター」に新作プログラムとして津波襲来時の映像も追加され、震災の風化防止へ重点をおいた。

◆気仙沼市の「東稜高校」が「畠山学園」から改名され、来年度から法人名を「東稜学園」に変更される。女子バレー部などが新しく創設され、来年度からは南三陸町もバスの運行を予定している。

◆気仙沼市面瀬地区で、子供たちのふれあいの広場、地域の交流の場として「面瀬川ふれあい農園」が22日からオープンした。世代間交流の拠点にと、プレオープンとしてお茶会も開催された。

◆気仙沼市は復興に向けた、まちづくりの担い手

の育成に、「気仙沼まち大学」事業を10月からスタートさせる。産業振興や子育てなどの分野をけん引する地域リーダーの卵を募集している。

生活困窮者自立相談支援機関「ひありんく気仙沼」の2015年度の報告で、111件の相談があり年金生活者や障害者が安定した収入を得られないでいる。生活保護や障害手帳を受けられない制度のはざまにいと話す。

◆唐桑町内養殖ホタテの出荷量が震災前を超えた。その理由に「半年での出荷サイズ」「漁場割り当て変更」での効果があるが、「半生身の安定確保などで不安」の問題もある。手法を変えた「いかだ」も適正化を図った。

◆鹿折地区で手作りイベントの「復興盆踊り大会」の開催で、仮設住宅など一時移転の住民を地区民で温かく迎えようと協議会の80名の実行委員が企画した。

気仙沼地方水産工業人材確保連絡調整会議が開催された。人手不足が比較的落ち着いたを見せる中で、人手確保への意見交換がなされ、工場近くに保育施設設置などの意見が出された。

◆小泉の調整池で虫が大量発生し、住民を悩ませている。

◆気仙沼市内の参院選の投票率は「32.04%」となり、全国平均より10ポイントとの差となり、18・19才の新有権者の投票も伸びなかった。

◆気仙沼市は世帯年収が360未満の多子世帯の第2子は、市内の認定保育所の保育料を半額とし、第2子以降は年齢要件を撤廃し無料とした。

◆大島漁協文庫の会は豊かな資料が保管される大島漁協文庫を、気仙沼市の文化財を目指し、大島の文化を後世へと活動を開始した。